

安全データシート

発行日: 2011年 3月 9日

改訂日: 2024年4月10日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: ホットメルト HM-330

会社名 : 株式会社 ホリゾン
住所 : 〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭1600
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 0740-25-4567 (代表)

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

分類の必要なし

GHSラベル要素:

分類の必要なし

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

化学特性: ホットメルト接着剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
酸化チタン	1 - 10 %
酢酸ビニル	0.1- 0.25 %
固形パラフィン	10 - 20 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 溶融した接着剤に触れた場合：水で冷やすこと。医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合：** 溶融した接着剤に触れた場合：水で冷やすこと。医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：** 口をすすぎ、コップに1～2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：** 一般的な全ての消火剤が適切である。
- 使ってはならない消火剤：** 高圧水噴射
- 火災時の特有の危険有害性：** 炭素酸化物
- 消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：** 自給式呼吸器を着用すること。
保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：** 保護具を着用すること。
8項目の注意を参照すること。
- 環境に対する注意事項** 下水管／地表水／地下水に捨てないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：** 物理的に除去する。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

保管:

安全な保管条件:

しっかりした換気／排気を確保すること。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
酸化チタン [二酸化チタン,吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
酸化チタン [二酸化チタン,総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
酸化チタン [二酸化チタンナノ粒子]		0.3	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
酸化チタン [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
酢酸ビニル [酢酸ビニル]				規制には含まれているが、データ値はない。詳細は規制を参照のこと。	JPJSOH OEL

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
酸化チタン [二酸化チタン,吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
酸化チタン		4	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL

[二酸化チタン,総粉塵]					
酸化チタン		0.3	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
[二酸化チタンナノ粒子]					
酸化チタン [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
酸化チタン		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酸化チタン		0.2	時間加重平均 (TWA) :		ACGIHLIS_P
酸化チタン		2.5	時間加重平均 (TWA) :		ACGIHLIS_P
酢酸ビニル	10		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酢酸ビニル	15		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH
固形パラフィン		2	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
酸化チタン		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酸化チタン		0.2	時間加重平均 (TWA) :		ACGIHLIS_P
酸化チタン		2.5	時間加重平均 (TWA) :		ACGIHLIS_P

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: 熱溶解物を扱う際は、耐熱性の手袋を着用すること。

眼の保護具: 防護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:	固体固体	色:	白
pH:	データ無し	臭い:	若干
沸点:	データ無し/対象外	融点:	データ無し/対象外
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	0.95 - 1.05 g/cm ³
引火点:	> 220 °C (> 428 °F)	蒸気圧:	データ無し/対象外
爆発範囲(下限):	データ無し/対象外	爆発範囲(上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性: 意図された目的に使用される場合は、無し

避けるべき条件 意図された目的に使用される場合は、無し

危険有害な分解生成物: 火災が起きた場合、毒性ガスを放出する可能性がある。

11. 有害性情報

一般毒性情報: これまでの経験に基づくと、製品の正しい使用および取扱いで害が及ぶことは無い。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
酸化チタン	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)
酢酸ビニル	LD 50	2,920 mg/kg	ラット	
酢酸ビニル	LD 50	1,613 mg/kg	マウス	
酢酸ビニル	LD50	3,500 mg/kg	ラット	指定されていません
固形パラフィン	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
酢酸ビニル	LD 50	2,335 mg/kg	ウサギ	
酢酸ビニル	LD50	7,440 mg/kg	ウサギ	指定されていません
固形パラフィン	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	LC 50	> 6.82 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酸化チタン	LC50	> 6.82 mg/l	粉塵	4 h	ラット	指定されていません
酸化チタン	LC 50	> 2.28 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酸化チタン	LC 50	> 3.56 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酢酸ビニル	LC 50	4490 ppm	蒸気	4 h	ラット	
酢酸ビニル	Acute toxicity estimate (ATE)	11.27 mg/l	蒸気			専門家の判断
酢酸ビニル	LC50	4490 ppm	蒸気	4 h	ラット	指定されていません

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
酢酸ビニル	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
固形パラフィン	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
酢酸ビニル	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
固形パラフィン	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
酸化チタン	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
酸化チタン	not sensitising	Buehler test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
酢酸ビニル	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
固形パラフィン	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目 ／管理経路	代謝活性化 ／ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
酸化チタン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
酸化チタン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
酸化チタン	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	without		equivalent or similar to OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
酢酸ビニル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
固形パラフィン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
固形パラフィン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
固形パラフィン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
酸化チタン	陰性	oral: gavage		ラット	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
酢酸ビニル	ambiguous	intraperitoneal		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
固形パラフィン	陰性	intraperitoneal		マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 ／処置頻度	種	性別	試験方法
酸化チタン	not carcinogenic	oral: feed	103 w daily	ラット	male/female	指定されていません
酢酸ビニル	carcinogenic	inhalation: vapour	104 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
固形パラフィン	not carcinogenic	oral: feed	2 y daily	ラット	male/female	指定されていません

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果/値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
酸化チタン	NOAEL P >= 1,000 mg/kg NOAEL F1 >= 1,000 mg/kg	one-generation study	oral: feed	ラット	OECD Guideline 443 (Extended One-Generation Reproductive Toxicity Study)
酢酸ビニル	NOAEL P 1000 ppm		oral: drinking water	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)
固形パラフィン	NOAEL P >= 1,000 mg/kg NOAEL F1 >= 1,000 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 421 (Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果/値	ばく露経路	ばく露時間 / 処理頻度	種	試験方法
酸化チタン	NOAEL > 1,000 mg/kg	oral: gavage	92 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
酢酸ビニル	NOAEL 5000 ppm	oral: drinking water	3 m daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
固形パラフィン	NOAEL 1,500 mg/kg	oral: feed	90 d	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	LC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
酢酸ビニル	LC50	26 mg/l	48 h	Leuciscus idus melanotus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
酢酸ビニル	NOEC	0.551 mg/l	34 d	Pimephales promelas	OECD Guideline 210 (fish early lite stage toxicity test)
固形パラフィン	LC50	> 100 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	EC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
酢酸ビニル	EC50	12.6 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
固形パラフィン	EC50	> 10,000 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	NOEC	Toxicity > Water solubility	21 d	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Chronic Immobilisation Test)
固形パラフィン	NOEL	10 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	EC50	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酸化チタン	NOEC	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酢酸ビニル	NOEC	5.96 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酢酸ビニル	EC50	12.7 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
固形パラフィン	NOEC	> 100 mg/l	72 h	指定されていません	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
固形パラフィン	EC50	> 100 mg/l	72 h	指定されていません	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
酸化チタン	ECO	Toxicity > Water solubility	24 h	Pseudomonas fluorescens	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
固形パラフィン	ECO	> 100 mg/l	30 min	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 27 (Bacterial oxygen consumption test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
酢酸ビニル	readily biodegradable	aerobic	82 - 98 %	14 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
固形パラフィン	容易に生分解されていません。	aerobic	> 0 - < 60 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
酢酸ビニル				さまざまな	

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
酢酸ビニル	0.73	25 °C	other guideline:

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 所轄官庁へ問い合わせの上、必要な前処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG: 危険物には該当しない。

Air transport IATA: 危険物には該当しない。

国内輸送規制:

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。海上輸

送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物

固形パラフィン酢酸ビニル

酸化チタン

名称等を表示すべき有害物

固形パラフィン

消防法

指定可燃物, 合成樹脂類

毒物及び劇物取締法：

該当しない

PRTR 法：

該当しない

16. その他の情報

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。